

県内経済の動き (2017年2月)

基調判断 一部に弱さがみられるが、緩やかな持ち直しの動き

製造業	➡	一部に弱い動き	公共工事	➡	持ち直しの動き
大型小売店販売動向	➡	横ばい	観光	➡	横ばい
乗用車販売動向	➡	持ち直しの動き	雇用	➡	高水準で推移
住宅着工	➡	横ばい	企業倒産	➡	低水準が続く

[直近の3カ月の変化の方向] ➡上向き ➡横ばい ➡下向き

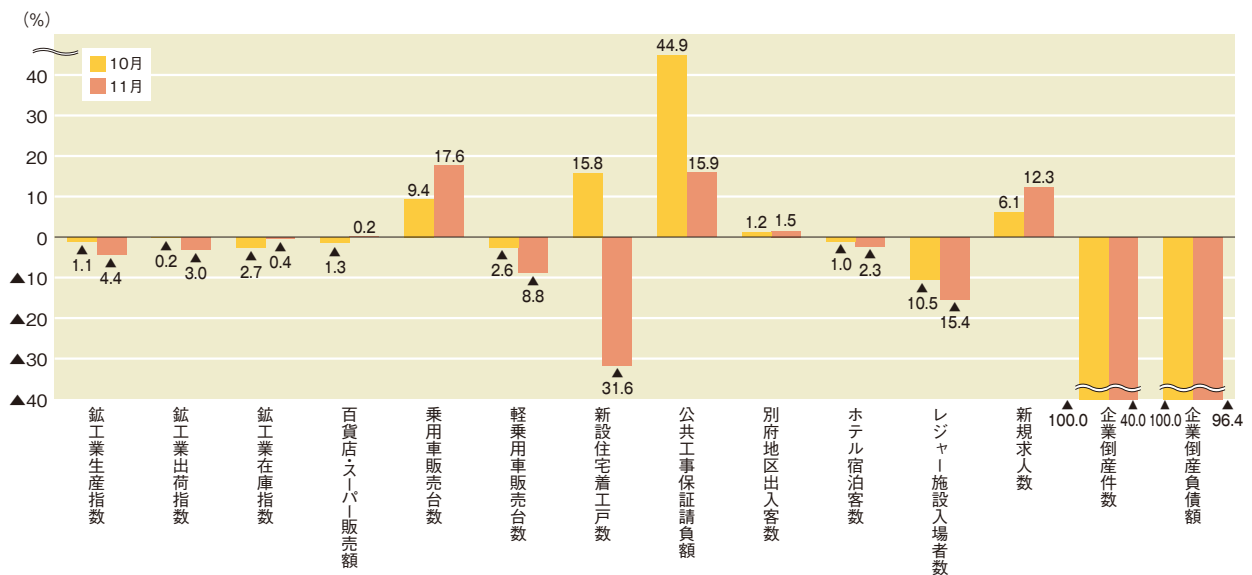
注) 1. 大型小売店販売動向は、百貨店・スーパー・専門量販店(家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター)の販売動向

大分県の主要経済指標の動き

	2015.11	12	2016.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
鉱工業生産指数	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	—
百貨店・スーパー販売額	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○
乗用車販売台数	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
軽乗用車販売台数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新設住宅着工戸数	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●
公共工事保証請負額	○	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○
別府地区出入客数	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○
ホテル宿泊客数	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	●	●
レジャー施設入場者数	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●
新規求人数	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
企業倒産件数	●	○	○	○	○	△	○	○	●	○	○	○	○
企業倒産負債額	●	○	●	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○
プラス指標の割合	41.7	58.3	33.3	66.7	66.7	8.3	50.0	41.7	41.7	50.0	50.0	58.3	63.6

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化
 2. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 3. ホテルは県内主要宿泊施設の計、レジャー施設は別府および隣接地区の計
 4. 別府地区出入客数はJR別府駅、大分空港乗降客数、別府IC乗降車数計

県内主要経済指標 (10月・11月分の前年同月比)

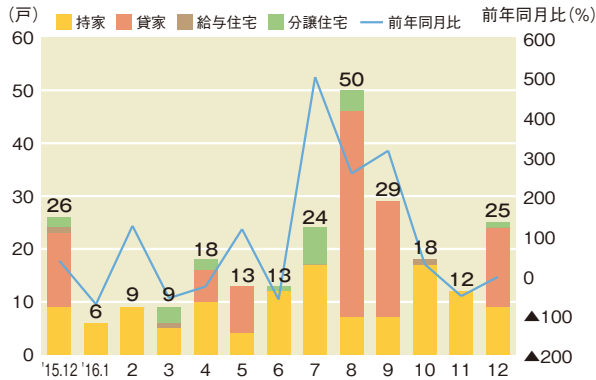


注) 1. 鉱工業生産・出荷・在庫指数は前々月、前月分
 2. ホテルは県内主要宿泊施設の計、レジャー施設は別府および隣接地区の計
 3. 別府地区出入客数はJR別府駅、大分空港乗降客数、別府IC乗降車数計

● 由布地区の経済指標

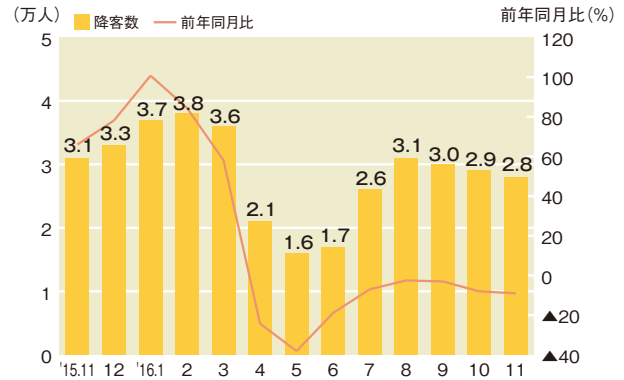
由布市の住宅着工は持家が下支えしているものの、2016年12月の由布市の新設住宅着工戸数は、前年同月比3.8%減の25戸と2ヵ月連続でマイナスとなっています。また、2016年11月の由布院駅降客数は同9.0%減の2.8万人と8ヵ月連続でマイナスとなっています。

新設住宅着工戸数



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

由布院駅降客数



資料) JR由布院駅

● 県内企業の景況意識調査 (2016年10~12月期)

小幅ながら2期連続で改善

◎業況判断

【今期】今期(2016年10~12月期<IV期>)の業況判断BSIは、前期比2.1ポイント上昇の▲8.4と2期連続で改善しました。前回調査における2016年IV期の見通し(▲5.2)と比較すると、3.2ポイントの下方修正となりました。

BSIの内訳をみると、「よくなった」と回答した企業は前期比2.6ポイント減の13.9%、「変わらない」は同7.4ポイント増の63.9%、「悪くなった」は同4.7ポイント減の22.3%となりました。

今期の業況判断BSIは前期より改善したものの、改善幅は小幅にとどまっており、また、内訳をみると上記のとおり「よくなった」「悪くなった」とも

に減少し、「変わらない」が増加しており、実質的には横ばいの状況にあります。

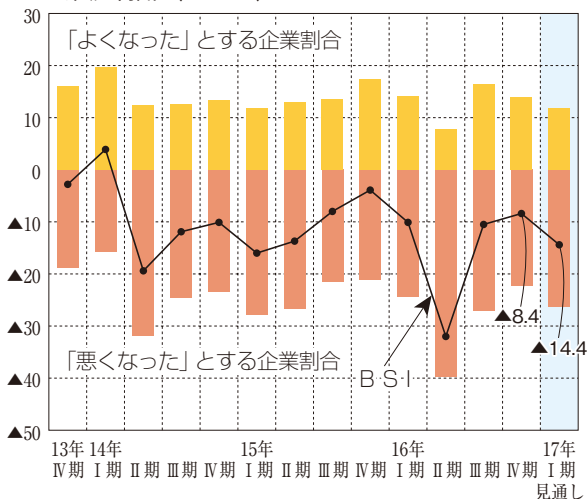
業種別のBSIをみると『鉱業』『建設業』『製造業』『運輸業』の4業種で改善しました。

【来期】来期(2017年1~3月期<I期>)の業況判断BSIは、今期比6.0ポイント低下の▲14.4と悪化する見通しです。

BSIの内訳をみると、「よくなる」と回答した企業は今期比2.0ポイント減の11.9%、「変わらない」は同2.0ポイント減の61.9%、「悪くなる」は同4.0ポイント増の26.3%となる見通しです。

業種別のBSIは、『建設業』『製造業』『サービス業』の3業種で悪化する見通しです。なお、『鉱業』は今期と同水準となる見通しです。

業況判断(BSI)



業況判断指数内訳(BSI)

	2016年II期	2016年III期	2016年IV期	2017年I期見通し
鉱業	0.0	▲50.0	0.0	0.0
建設業	▲34.4	▲21.2	0.0	▲12.5
製造業	▲22.9	▲17.7	▲5.5	▲16.4
卸・小売業	▲28.6	▲15.4	▲16.6	▲15.4
金融・不動産業	▲28.6	0.0	▲28.6	▲14.3
運輸業	▲30.0	▲17.6	▲16.6	0.0
サービス業	▲56.4	23.7	0.0	▲17.5
全産業	▲32.0	▲10.5	▲8.4	▲14.4